

第23回石川県小学生学年別柔道大会 要項

- 1、 目的 わが国の将来を担う小学生の心身の健全な育成を目指すとともに、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及・発展を期する。また将来の日本柔道を背負うジュニア選手育成を目的とする。
- 2、 主催 石川県柔道連盟
- 3、 主管 全日本柔道少年団石川県連合分団
- 4、 後援 株式会社北國新聞社・株式会社テレビ金沢
- 5、 期日 令和8年6月7日(日) 9時30分～開会式
- 6、 会場 松任総合運動公園 啓武館 白山市倉光4丁目22 TEL 076-276-4844
- 7、 実施種別 種別及び体重区分は次の通りとする。

①6年生男子 軽量級	⑤5年生男子 軽量級	
②6年生男子 重量級	⑥5年生男子 重量級	
③6年生女子 軽量級	⑦5年生女子 軽量級	
④6年生女子 重量級	⑧5年生女子 重量級	
⑨4年生男子 軽量級	⑬3年生男女混合 軽量級	⑰1年生男女混合 軽量級
⑩4年生男子 重量級	⑭3年生男女混合 重量級	⑱1年生男女混合 重量級
⑪4年生女子 軽量級	⑮2年生男女混合 軽量級	
⑫4年生女子 重量級	⑯2年生男女混合 重量級	

※各階級の割振りは申込体重で決める。申込体重欄には正確に小数点以下第1位まで記入する。
「エントリー人数に端数が生じた場合・振り分け部に同体重の選手がいた場合には、
(軽⇒重)の順で割り振る。」
- 8、 参加資格 (1)令和8年度全日本柔道連盟に競技者登録をしている者であること。
(2)全日本柔道少年団石川県連合分団に加入していること。
(3)選手の年齢区分は次の通りとする。

(ア)6年生の部:平成26年4月2日以降に生まれた者
(イ)5年生の部:平成27年4月2日以降に生まれた者
(ウ)4年生の部:平成28年4月2日以降に生まれた者
(エ)3年生の部:平成29年4月2日以降に生まれた者
(オ)2年生の部:平成30年4月2日以降に生まれた者
(カ)1年生の部:平成31年4月2日以降に生まれた者

※但し、帰国子女等についてはこの年齢制限を適用せず、学年齢による種目に出場できる。

(4)監督は全日本柔道連盟登録をしている者とする。

平成28年度より、監督の条件として「全柔連指導者登録」もしくは「学校顧問特例資格」をし、 「全柔連社会人登録をした者」となりますので、予め確認の上、所定の手続きをお勧めくださ いますようお願いいたします。
--

(6)各階級の参加人数には制限を設けない。
(7)選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者の承諾を得た者。
(8)主催者は、大会中の不慮の負傷等について応急処置を施すが責任を負わない。
(9)万が一の事故発生に備え、各所属・参加者独自で傷害保険等に加入するなど、
万全の事故対策を立てておくこと。

- 9、 審判規定 **(1)国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028)及び「少年大会試合審判規定」を適用する。**
※ 別紙の「審判規定変更点」および「少年大会試合審判規定」(2026.4.1施行)参照
(2)試合時間は2分間とする。 **5、6年生の部のみ準決勝・決勝は3分間とする。**
(3)勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」「判定」とする。
「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり、有効)がない、又は同等の場合
「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
1差以下であれば旗判定で勝敗を決定する。(延長戦は行わない)
- 10、 試合方法 実施種別によるトーナメント戦とする。
4名以下の場合は総当たり制のリーグ戦とする。
- 11、 選手変更 申込締切後、認められない。
- 12、 ゼッケン 各自で下記の要領で縫い付けること。(無ければ失格とする)
(1)布地は白色(晒太綾)で、サイズは、横 30cm~35cm、縦 25cm~30cm。
(2)上部 2/3 に苗字、下部1/3 に所属を表記する。
書体は楷書で、ゴシック体または明朝体を用いること。
(3)男子は黒字、女子は赤字とする。
(4)縫い付けの場所は後襟から 5~10 cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること。
- 13、 表彰 各種別の優勝から3位(2名)までを表彰する。
- 14、 参加申込 **令和8年5月8日(金)必着 所定の申込用紙により下記宛にメールで申し込むこと。**
【申込み先】 大会事務局 加藤 孝之 宛
- 15、 参加料 1人1,000円(各分団毎に徴収) ※申込み後のキャンセル不可
- 16、 組合せ抽選 **令和 8年 5月 23日(土) 14:00より**
志賀町武道館(志賀町町へ-1-1) 1F柔道場 にて行う
- 17、 諸会議等 (1) 受付 午前8:00~8:30
(2) 審判、監督者会議 午前8:40~9:20 1F集会室(予定)
- 18、 審判員 出場チームは、審判員を1名以上帯同すること。
- 19、 会場入場者 **試合会場には大会役員、会場係、審判員、監督(引率責任者)、コーチ、選手以外の入場は認めない。変更等が生じた場合には、大会事務局へ必ず届け出ること。**
また、服装は審判服に準じたものとする。

20、その他

- (1) 大切な成長過程にあることを重視し、減量を行ってはならない。
- (2) 柔道ルネッサンスの普及及び徹底
- (3) 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて
 - ・参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果が、大会プログラム、競技会場内の掲示板、本連盟ホームページに掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により新聞、テレビに公開される場合がある。提出された個人情報は前述の目的以外に利用しない。ライブ配信によって試合映像が本連盟加盟団体に限り、配信されることがある。また、ケアシステムの動画は各種委員会講習会で使用されることがある。参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権について承諾を得たものとして対応する。
- (4) 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」(H24.4.1全柔連)留意してください。
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)の発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会へ出場ができない場合もある。
- (6) ・脳振盪対応について 選手および指導者は下記事項を遵守すること
 - ①大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とし、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

以上